

(独立行政法人教員研修センター委嘱事業)

教員の資質向上のための研修プログラム開発事業

## 実 施 報 告 書

プログラム名	教員研修センター初任者用テキスト活用セミナー
プログラムの 特徴	<p>本プログラムでは、初任者～5年目程度の経験を有する若手教員向けに開発した研修用テキストを使用し、基礎的・基本的な授業力向上のための方法や、学級経営の基本等について、若手教員の力量向上を目的とした研修を全4回に渡り実施した。テキストは「小学校教師・中学校教師共通テキスト」を12種類、「小学校教師用テキスト」を9種類、「中学校教師用テキスト」を9種類開発し、研修で活用した。</p> <p>Web アンケートによる事前・事後アンケートを解析して効果測定を実施した結果、本プログラムに参加した受講者に研修効果や、職場ストレスの軽減効果が見られた。</p>

平成29年3月

機関名 特定非営利活動法人 TOSS

## 【プログラムの全体概要】

### 1 全30種類のテキスト開発（小中共通12種類・小学校9種類・中学校9種類）



### 2 事前 Web アンケートの実施（※委託先「公益社団法人 子どもの発達科学研究所」）

仮説：「教員研修センター初任者用テキスト活用セミナー」を受講した教師は、そうでない教師に比べて、授業に対するスキルが向上し、授業の遅延が少なくなる。  
また、心理的ストレスが軽減される。



### 3 テキストを活用したセミナーの実施（8月・9月・10月・2月）



### 4 事後 Web アンケートの実施及び効果測定

- 1) 「免許更新受講者」よりも「テキスト活用セミナー」受講者の方が研修効果を高く評価。
- 2) ストレスに対する軽減効果。

## I 開発の目的・方法・組織

### 1 開発目的

ベテラン教員の大量退職と、新規採用教員の大量採用の時期を迎え、年齢構成が不均衡になっており、若手教員の力量向上が喫緊の課題となっている。そこで、本プログラムでは、「初任者～5年目程度の若手教員の力量向上」を目的とし、初任者向け研修テキストを活用した研修プログラムを開発・実施することとした。

### 2 開発の方法

若手教員の力量向上に寄与するための必要な知識や教育技術等について検討し、校種対象や内容別に、全30種類のテキストを開発した。内訳は、「小学校教師・中学校教師共通テキスト」12種類、「小学校教師向けテキスト」9種類、「中学校教師向けテキスト」9種類である。テキストのタイトルは、以下のとおりである。

#### ○小学校教師・中学校教師共通テキスト（12種類）

- A01\_黄金の3日間でクラスをつくる
- A02\_授業の基本的技量の身につけ方
- A03\_授業の導入と展開一組み立て方の基本
- A04\_ノートの取らせ方・宿題の出し方
- A05\_子供に力をつける教材・教具の条件
- A06\_子供集団の動かし方
- A07\_特別支援を要する子への対応の基本
- A08\_いじめと荒れへの対応
- A09\_生徒指導のポイントー小学校
- A10\_生徒指導のポイントー中学校
- A11\_子供が熱中する教材研究の方法
- A12\_専門職としての教師の仕事

#### ○小学校教師向けテキスト（9種類）

- B01\_国語指導1ー音読・漢字
- B02\_国語指導2ー読解、説明文
- B03\_国語指導3ー言語・作文
- B04\_算数指導1ー計算指導
- B05\_算数指導2ー教科書を使った指導
- B06\_算数指導3ー代表的単元の指導のコツ
- B07\_社会科指導ー資料を読み取らせる基本
- B08\_理科指導ー観察・実験のポイント
- B09\_体育指導ー運動の苦手な子が動くマネジメント

○中学校教師共通テキスト（9種類）

- C01\_国語指導 1－基本的な読解・作文
- C02\_国語指導 2－論理的な読解・討論
- C03\_数学指導 1－基礎学力をつける指導
- C04\_数学指導 2－数学的思考力を高める指導
- C05\_社会科指導－地図や資料から読み取る力
- C06\_理科指導－暗記から脱却し主体的に探究させる指導
- C07\_英語指導－世界に通用する英語力をつける
- C08\_体育指導－生涯体育につながる授業
- C09\_進路指導・キャリア指導

### 3 開発組織

TOSS (Teacher's Organization of Skill Sharing) で研鑽を積んでいる教員有志で「テキスト開発チーム」を組織し、テキスト開発を行った。研修会講師は、TOSSで講師経験の豊富な6名が担当した。研修の効果測定については、公益社団法人子どもの発達科学研究所の協力を得た。

表1 組織体制

所属・職名	氏名	担当・役割
特定非営利活動法人 TOSS・理事長	向山洋一	統括責任者・テキスト監修
公益社団法人子どもの発達科学研究・主任研究員	和久田学	Web アンケート作成・効果測定
玉川大学教職大学院・教授	谷 和樹	運営責任者・講師・テキスト編集
日本理科教育支援センター・所長	小森栄治	講師・テキスト開発
埼玉県公立中学校・教諭	長谷川博之	講師・テキスト開発
千葉県公立中学校・教諭	吉原尚寛	講師・テキスト開発
栃木県公立小学校・教諭	松崎 力	講師・テキスト開発
埼玉県公立小学校・教諭	木村重夫	講師・テキスト開発

## II 開発の実際とその効果

### 1 「第1回 つくば集中プログラムセミナー」(小学校教師・中学校教師向け)

#### (1) ねらい

小学校教師・中学校教師を対象に、「小学校教師・中学校教師共通テキスト」を活用した研修会を実施した。授業開始と同時に子供達を惹き込む教育技術、教材教具の効果的な活用法、特別支援を要する子供への対応、授業力向上の方法等、小学校教師・中学校教師双方にとって基本的かつ大切な内容を構成した。

#### (2) 期日

平成28年8月30日(火) 13:30~16:30

(3) 会場

教員研修センター第二研修棟2階

(4) 参加人数

233名

(5) 講師

谷 和樹 (玉川大学教職大学院教授)

長谷川博之 (埼玉県公立中学校教諭)

松崎 力 (栃木県公立小学校教諭)

木村重夫 (埼玉県公立小学校教諭)

(6) 講座内容

【講座1】授業開始と同時に子供を惹きつける工夫と授業の組み立て《使用テキストA03》

【講座2】優れた教材・教具が子供の学力を保証する！《使用テキストA05》

【講座3】グングン授業力がアップするっておきの習慣《使用テキストA02》

【講座4】「もっとやりたい！」と歓声を上げるほど熱中する授業を作るポイント《使用テキストA11》

【講座5】スッキリしたノートで学力UP!教科別ノート指導と宿題の出し方のコツ《使用テキストA04》

【講座6】黄金の3日間で子供達がスムーズに動けるようになる！学級システム作りのポイント《使用テキストA01》

【講座7】白銀の3日間でクラスを再構築するおさえどころ《使用テキストなし》

【講座8】混乱ゼロ！子供達がスムーズに動けるようになる指示の出し方《使用テキストA06》

【講座9】特別支援を要する子が日を追うごとに優しくなっていく対応の基本《使用テキストA07》

【講座10】理想のクラスをイメージするっておき映像解説講座《使用テキストなし》

(7) 実施方法

それぞれの講座担当講師が、テキストとプレゼン用コンテンツを併用し、時折模擬授業を織り交ぜながら進めた。プレゼン用コンテンツには、テキストの内容に関連した実践事例を中心に紹介した。

2 「第2回 つくば集中プログラムセミナー」 (小学校教師向け)

(1) ねらい

小学校教師を対象に、「小学校教師向けテキスト」を活用した研修会を実施した。各教科の授業づくりのポイントや、いじめを防ぐ学級経営、効率的に業務を行い、子供と向き合う時間を作るための仕事術等の内容を構成した。

(2) 期日

平成28年9月17日(土) 13:00～16:30

(3) 会場

教員研修センター第二研修棟2階

(4) 参加人数

238名

(5) 講師

谷 和樹(玉川大学教職大学院教授)

小森栄治(日本理科教育支援センター所長)

木村重夫(埼玉県公立小学校教諭)

(6) 講座内容

【講座1】《国語》基礎学力を確実に保証する漢字&音読指導《使用テキストB01》

【講座2】《国語》正確に読み取る力が付く読解指導のコツ《使用テキストB02》

【講座3】《国語》苦手な子もスラスラ書けるようになる作文指導のポイント《使用テキストB03》

【講座4】《社会》資料から50以上読み取る子供が育つ資料読み取り授業のポイント《使用テキストB07》

【講座5】《算数》説明しない授業で頭がスッキリ!苦手な子もできるようになる授業のコツ《使用テキストB05》

【講座6】《算数》この教え方で平均90点越え!まるまる1単元攻略講座《使用テキストB06》

【講座7】《算数》確実に解けるようになっていく計算問題指導のステップ《使用テキストB04》

【講座8】《理科》理科が大好きになる観察・実験指導のポイント《使用テキストB08》

【講座9】《体育》運動が苦手な子が楽しく汗をかくようになる授業マネジメント《使用テキストB09》

【講座10】子供一人一人の個性を伸ばす生徒指導《使用テキストA09》

【講座11】クラスの荒れ・いじめとおさらばする学級経営と対応術《使用テキストA08》

【講座12】本物のプロ教師になるための仕事の流儀《使用テキストA12》

(7) 実施方法

それぞれの講座担当講師が、テキストとプレゼン用コンテンツを併用し、時折模擬授業を織り交ぜながら進めた。プレゼン用コンテンツには、テキストの内容に関連した実践事例を中心に紹介した。

### 3 「第3回 つくば集中プログラムセミナー」(中学校教師向け)

#### (1) ねらい

中学校教師を対象に、各教科の授業づくりのポイントや、いじめを防ぐ学級経営、キャリア教育の方法等の内容を構成した。

#### (2) 期日

平成28年10月9日(日) 13:00~16:30

#### (3) 会場

教員研修センター食堂棟3階レセプションホール

#### (4) 参加人数

148名

#### (5) 講師

小森栄治(日本理科教育支援センター所長)

長谷川博之(埼玉県公立中学校教諭)

松崎 力(栃木県公立小学校教諭)

木村重夫(埼玉県公立小学校教諭)

#### (6) 講座内容

【講座1】クラスの荒れ・いじめとおさらばする学級経営と対応術《使用テキストA08》

【講座2】生徒一人一人の個性を發揮させる生徒指導《使用テキストA10》

【講座3】《社会》熱中して資料を読み取るようになるアクティブ・ラーニング型授業《使用テキストC05》

【講座4】《国語》基礎・基本の読解力と書く力の鍛え方《使用テキストC01》

【講座5】《数学》基礎学力を保証する数学指導の基礎・基本《使用テキストC03》

【講座6】《英語》世界に通用する英語力をつける授業のコツ《使用テキストC07》

【講座7】《体育》生涯に渡って健康的に運動するようになるとおきの授業《使用テキストC08》

【講座8】《理科》目的意識とワクワク感を持ちながら観察・実験できるようになるための授業アイデア《使用テキストC06》

【講座9】《国語》一見難しそうな文章もスラスラ読み解けるようになる読解指導と討論への仕掛け方《使用テキストC02》

【講座10】《数学》メキメキ数学的思考力がアップする授業のコツ《使用テキストC04》

【講座 11】 本物のプロ教師になるための仕事の流儀《使用テキスト A12》

【講座 12】 夢を持ち、あきらめずに努力する生徒を育てる進路指導とキャリア教育  
《使用テキスト C09》

#### (7) 実施方法

それぞれの講座担当講師が、テキストとプレゼン用コンテンツを併用し、時折模擬授業を織り交ぜながら進めた。プレゼン用コンテンツには、テキストの内容に関連した実践事例を中心に紹介した。

#### 4 「つくばフォローアップセミナー2017」(小学校・中学校教師向け)

##### (1) ねらい

小学校教師・中学校教師を対象に、過去3回実施してきた内容をフォローアップすることを目的に研修会を実施した。参加者が事前に模擬授業に立候補して授業を行う等、過去3回に比べて「参加型」を中心にした内容を構成した。

##### (2) 期日

平成29年2月12日(日)

##### (3) 会場

教員研修センター食堂棟3階レセプションホール

##### (4) 参加人数

58名

##### (5) 講師

谷和樹(玉川大学教職大学院教授)

松崎力(栃木県公立小学校教諭)

木村重夫(埼玉県公立小学校教諭)

吉原尚寛(千葉県公立中学校教諭)

##### (6) 講座内容

【講座 1】 プロの授業から学ぶ授業の基本技量《テキスト A02・A06》

【講座 2】 プロに見てもらうことで授業力は劇的に向上する

→ 参加者が模擬授業をし、代案&コメントをもらう講座。途中介入指導あり。

・国語(5分)・算数(5分)・社会(5分)・理科(5分)・英語(5分)

【講座 3】 「日々の困った」に効く対応力向上講座《テキスト A07 A09 A10》

→ 参加者が学級の様子について説明し、具体的な助言を受ける講座。

【講座 4】 魔の2月を抜け出すための手立て《テキスト A08》

【講座 5】 もうすぐ年度末。学校一段取りよく行う超スピード仕事術《テキスト A12》

【講座 6】 最後の最後まで子供を伸ばす卒業式指導《テキスト A06》



## 【講座7】教師生活を徹底的にフォローするロングQ&A講座

### (7) 実施方法

それぞれの講座担当講師が、テキストとプレゼン用コンテンツを併用し、時折模擬授業を織り交ぜながら進めた。プレゼン用コンテンツには、テキストの内容に関連した実践事例を中心に紹介した。また、参加者の模擬授業に対して講師が助言したり、参加者の質問に講師が回答したりする内容を含めた。

## Ⅲ 研修についての考察

### 1 参加者の感想

- 専門科目だけではなく、色々な科目についても知らないといけないと感じました。体育の実況や記録係をもうけることや、国語の音読の仕方を学びましたが、大切なのは生徒が暇な時間を作らないことだと思います。
- 講師の先生方の積み重ねに感動します。今現在2名の新規採用教員を指導しておりますが、一人前の教師に成長できるよう、半年間教師修業を積ませます。
- 学級経営からいじめ対応、授業の組み立てから具体的な指導方法まで数多くの学びをいただきました。中学校では授業で多数のクラスを担当します。自分のクラスなら良いですが、他のクラスに対して自分は何ができるのかを常に考えています。得た知識、指導方法を生かし、目の前の子供に実践することで、少しでも「よい授業」ができるのようになりたいと思います。
- テキストをもとにしながら、行間を埋めるように詳しく解説してくださったり、実演したりしてくださったので、大変わかりやすかったです。自分の受けた初任研とは全く異なる内容で、こちらの方がより実践的、具体的で日々の授業や指導にすぐ生かせるものばかりでした。
- 「全員で143人を担任するつもりで！」という文書がすごく心に残りました。小学校では特に、自分のクラスのみという意識が強く、周りにまで気が向けられなかったりする教員、管理職も多いです。生徒指導や子供を育てるという観点からは、学校運営を担う一員として、全体を見る視野で一人一人の子供たちに接していくというシステムにしていきたいと思いました。
- 授業がわかりやすく、楽しかったです。他教科でもとても勉強になりました。学び続けることで授業だけでなく、すべての教育活動に貢献できることがわかりました。すぐに結果を求めず、何年もあきらめずにやり続けたいと思いました。
- いじめアンケートの実施について細やかに説明されていました。多くの学校で何気なくされている後ろから集める、アンケートにいじめアンケートと書いてある等々、改善しなければならないことがはっきりとわかってよかったと思いました。
- 各講座が15分という短時間の中で、講師の先生方の全体を巻き込む展開に学びの連続でした。このような指導法があったのかという発見、このような指導すればよかったの

かという我流の見直し、教室で実践したときの子供達の姿のイメージなど、講座を受けながら考えることができてよかったです。

○テキスト+αの講座が心地良いと思いました。メモを取り、おみやげになるものがたくさんできました。職場に帰り、このまま研修がしたい！と思いました。

○算数教科書の挿絵で、ゆっくり歩く「スタスタ」「タッタッ」、速く歩く「タッタッ」「タタタタ」と表現を入れているのを聞いて、教師が工夫することが大事なのだと思いました。教科書から基本型をおさえ、どこを見させるか、わかりやすくさせるための様々な手立てを考えて実践し続けることが重要だと思いました。

○他教科から学ぶことの意義を長谷川先生から教えていただきました。「その子の特性に合った学習の仕方を教えること」が教育相談で求められていることに、まさにその通りだなと感じています。勤務校でも不登校生徒の中には、学力不振が理由で学校に来られないことがよくあるからです。そういう意味で、さまざまな教科で示された学習のやり方はとても興味深かったです。計算のやり方が、スッと頭の中に入ってきました。声に出して何度も言わせることで、身についていくのだと思います。

## 2 本プログラムの効果検証・成果

以下、子どもの発達科学研究所のレポートをそのまま掲載する。

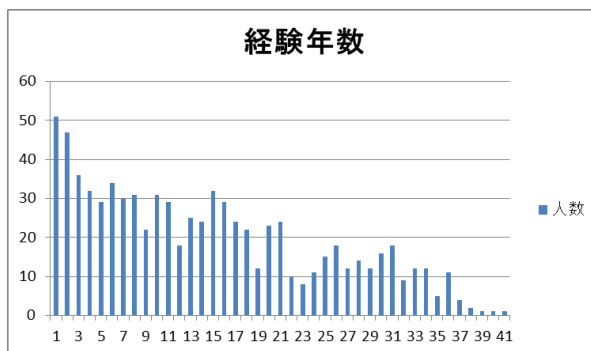
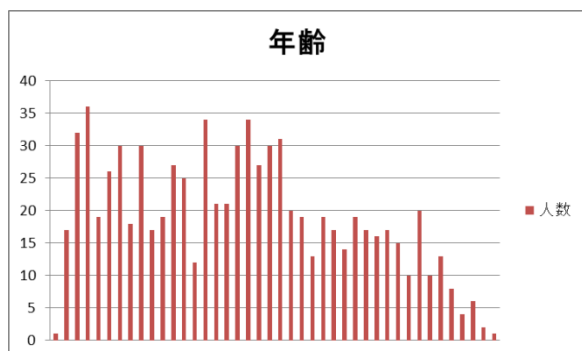
=====

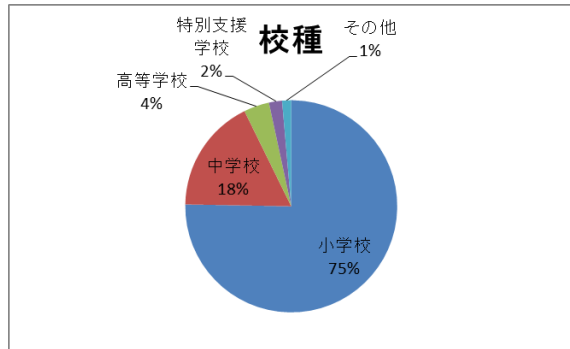
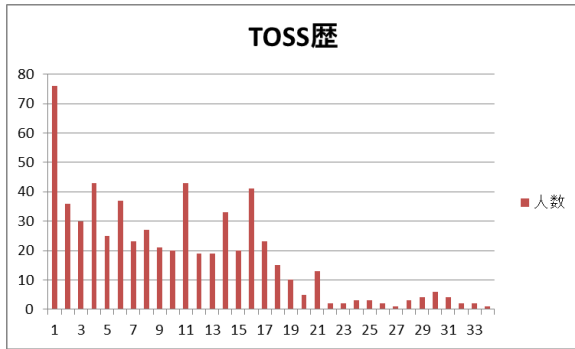
### 「教員研修センター初任者用テキスト活用セミナー」効果検証研究

公益社団法人 子どもの発達科学研究所

#### 1 調査対象者

調査対象者の人数は797人でうち男性が451人(57%)、女性が346人(43%)であった。平均年齢は38.2歳、教職平均経験年数は13.4年で、TOSS経験年数の平均は9.0年であった。所属する学校種の内訳は、小学校75%、中学校18%、高等学校4%、特別支援学校2%、その他1%であった。





## 2 研修参加

本研究の参加者は以下の2つの研修の両方、またはいずれかに参加した教職員と、どちらも参加していない教職員を対象としている。

- ① 教員研修センター初任者用テキスト活用セミナー
- ② 文部科学省教師力向上セミナー

それぞれの研修参加の内訳は以下の通りである。

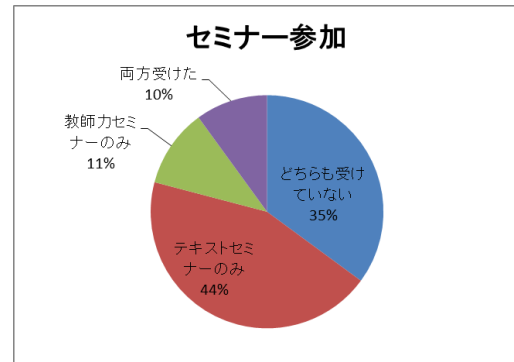
テキストセミナーのみ 202人 (44%)

教師力セミナーのみ 50人 (11%)

両方受けた 46人 (10%)

どちらも受けていない 161人 (35%)

また、これらの対象者に対して、免許更新研修の参加の有無について尋ねている。



## 3 研究の目的

本研究は「教員研修センター初任者用テキスト活用セミナー」の参加者と非参加者を対象として、職場ストレス（精神衛生）の軽減、授業実践についての自己評価の向上に対する効果の検証を目的としている。

仮説：「教員研修センター初任者用テキスト活用セミナー」を受講した教師は、そうでない教師に比べて、授業に対するスキルが向上し、授業の遅延が少なくなる。また心理的ストレスが軽減される。

## 4 方法

### 4\_1 サンプルング

「教員研修センター初任者用テキスト活用セミナー」に参加した教師を対象に、本調査への参加を口頭、文書、メールで呼びかけ、参加に同意した者を対象にした。また、本研修に参加していない教師の募集は教師向けウェブサイトの中で行い、参加に同意した者を対象とした。

### 4\_2 測定方法

ネットリサーチシステムを使用し、参加者は無記名で質問に回答した。ただし、1回目と2回目の回答の連続性を保つため、固有のID番号を使用した。

第1回の調査時期は2016年8月～11月、第2回は二つの研修終了後の2017年1月に行った。測定項目については以下の通りである。

個人背景因子：性別、年齢、教職経験年数、TOSS経験年数、研修参加の有無  
研修参加の有無：「教員研修センター初任者用テキスト活用セミナー」、比較として、「文部科学省教師力向上セミナー」「教員免許更新研修」、教育委員会、教員研究団体などが主催の講座」のそれぞれ  
研修の効果の評価\*：授業進度への効果、学んだことの実践化、実践に役立ったか、授業のやり方の向上  
ストレス評価：職業性ストレス簡易調査票（厚生労働省）  
教職員共済組合 ストレスチェック項目

\*研修効果評価項目は以下のとおりである。

授業進度への効果：セミナーの結果、授業進度等が早くなりましたか。

学んだことの実践化：新しく学んだことで、実際に教室で実践してみたことがありますか。

実践への貢献：新しく学んだことで、役にたったと実感できたものがありましたか。

#### 4\_3 解析

研修効果の比較については、研修を受けたあとの「授業進度への効果」、「学んだことの実践化」、「実践への貢献」、「授業のやり方の向上」について、参加者に3件法で尋ねたものについて、その頻度を確認した。

また、研修参加の有無による4群\*に対し、職場ストレス尺度について、1回目調査と2回目調査の得点差を比較した。解析方法は重回帰分析を用い、性別と年齢とTOSS研修歴を交絡因子として統制した。

\*4群とは以下の通りである。

テキストセミナーのみ参加：テキストセミナー群

教師力セミナーのみ参加：教師力セミナー群

両方を受けた：両セミナー参加群

両方とも受けていない：セミナー非参加群

## 5 結果

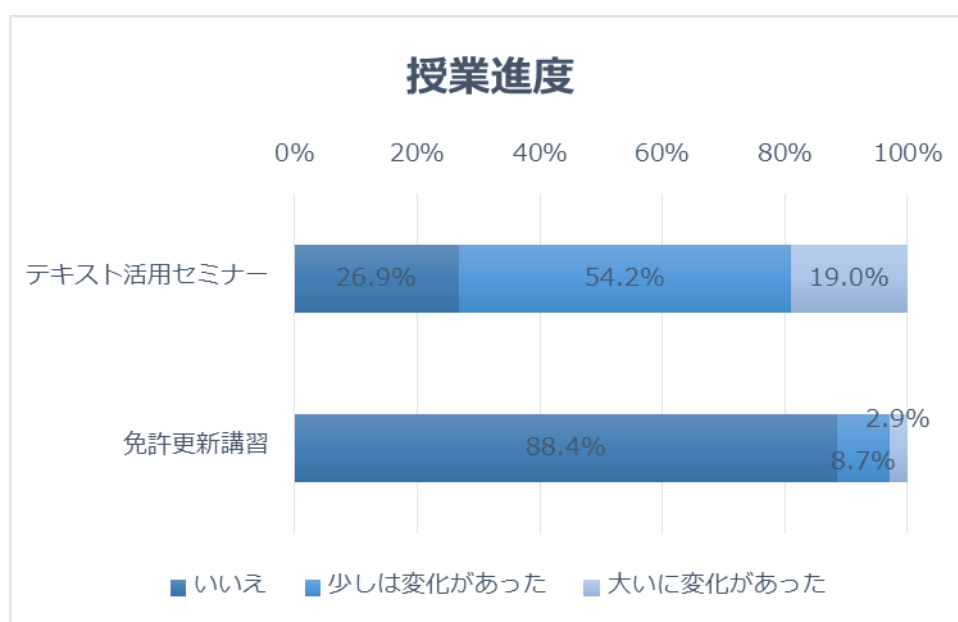
## 5\_\_1 研修効果の評価

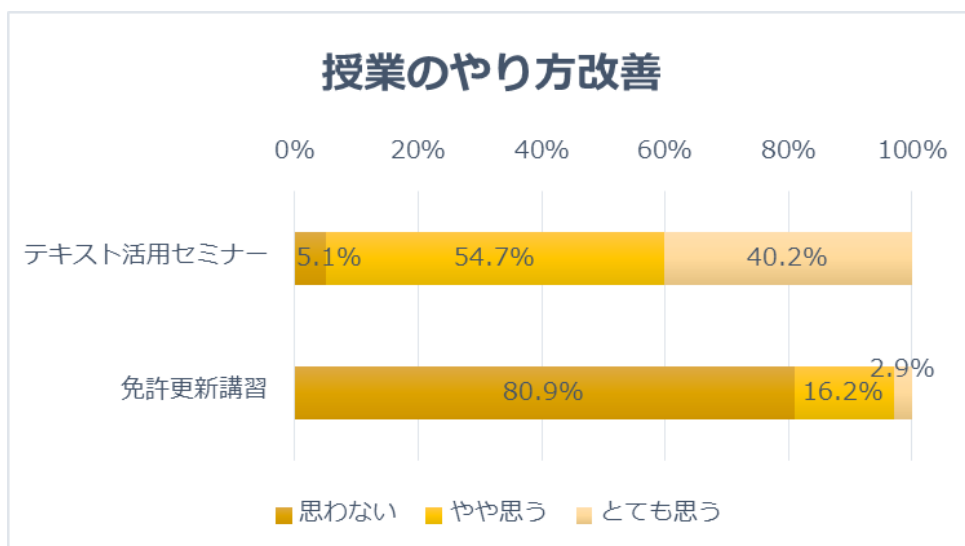
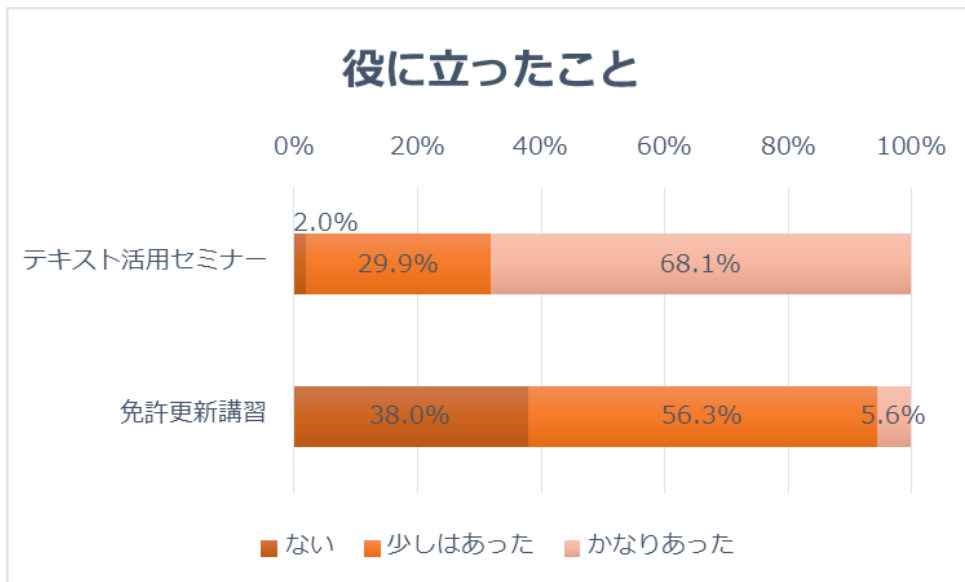
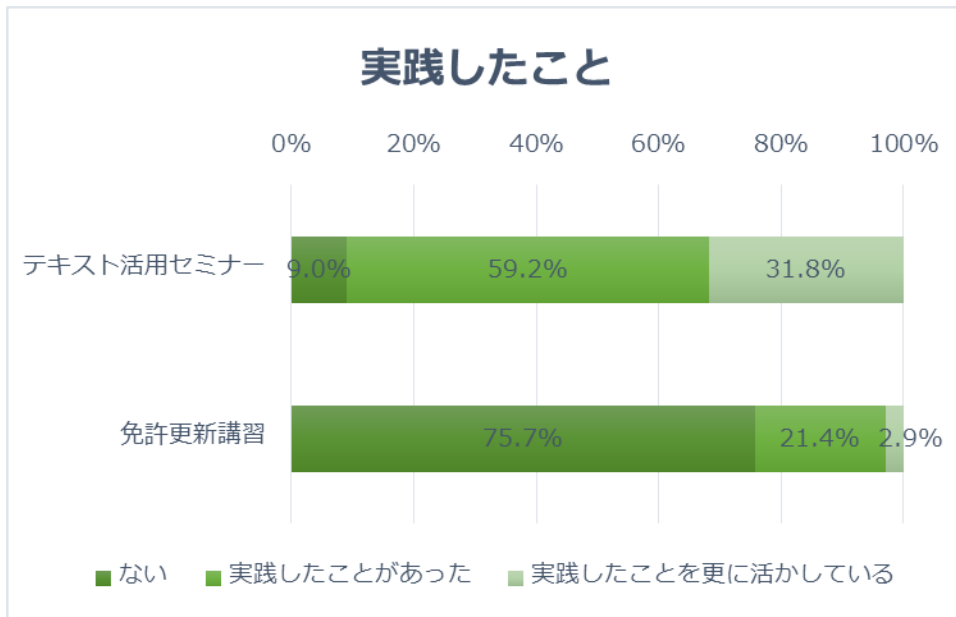
「テキスト活用セミナー」を受講した後の「授業進度」「実践したこと」「役に立ったこと」「授業のやり方の改善」それぞれの回答結果は表1、グラフ1の通りであった。「免許更新研修」を受講した後の評価を比較として示す。「テキスト活用セミナー」受講者の方が「免許更新研修」受講者よりも、研修効果について高く評価する傾向があった。

表1

授業進度	いいえ	少しは変化があった	大いに変化があった
テキスト活用セミナー	26.9%	54.2%	19.0%
免許更新講習	88.4%	8.7%	2.9%
実践したこと	ない	実践したことがあった	実践したことを更に活かしている
テキスト活用セミナー	9.0%	59.2%	31.8%
免許更新講習	75.7%	21.4%	2.9%
役に立ったこと	ない	少しはあった	かなりあった
テキスト活用セミナー	2.0%	29.9%	68.1%
免許更新講習	38.0%	56.3%	5.6%
授業のやり方の改善	思わない	やや思う	とても思う
テキスト活用セミナー	5.1%	54.7%	40.2%
免許更新講習	80.9%	16.2%	2.9%

グラフ1





## 5\_2 ストレスに対する効果

「教員研修センター初任者用テキスト活用セミナー」を受講した群で、研修を受講しなかった群と比較して、研修前と比較して研修後のストレス評価の値が低くなる傾向があった。「教員研修センター初任者用テキスト活用セミナー」と「文部科学省教師力向上セミナー」の両方を受講した群においても、ストレス評価の値が低くなる傾向が見られた。(表2)

表2

ストレス尺度 合計得点)				
diff_st	Coef.	P>t	[95% Conf.	Interva[]
グループ				
テキスト活用	<b>-3.699686</b>	<b>0.02</b>	-6.814038	-0.5853338
教員免許更新研修	-2.848554	0.46	-10.42092	4.723811
両方受講	<b>-8.318936</b>	<b>0.029</b>	-15.77814	-0.8597272
年齢	0.0341619	0.664	-0.1201322	0.188456
性別 (女性)	0.7006094	0.647	-2.299817	3.701036
TOSS所属	-1.522254	0.442	-5.411679	2.367172

※グループはテキスト活用、教員免許更新研修ともに受講していない人を基準とする

※年齢、性別、TOSSの所属有無で統制している

※Coefficientがマイナスであることは、ストレスが下がっていることを意味する

また、ストレス尺度内の下位項目A、B、Cそれぞれでの比較では、ストレス尺度Bにおいて、テキスト活用セミナーを受講した群でストレス尺度の値が低くなる傾向、両方を受講した群でストレス尺度の値が低くなる傾向が見られた。(表3)

表3

ストレス尺度B				
diff_st2	Coef.	P>t	[95% Conf.	Interva[]
グループ				
テキスト活用	<b>-3.500795</b>	<b>0.002</b>	-5.75681	-1.24478
教員免許更新研修	-2.044146	0.464	-7.529515	3.441224
両方受講	<b>-7.317621</b>	<b>0.008</b>	-12.72102	-1.914222
年齢	0.0593453	0.297	-0.0524243	0.1711149
性別 (女性)	-0.164292	0.882	-2.33778	2.009196
TOSS所属	-1.96175	0.172	-4.779223	0.855723

## 5 考察

研修を受けたことによる「授業進度」「実践したこと」「役に立ったこと」「授業のやり方の改善」への効果のいずれについても、「教員研修センター初任者用テキスト活用セミナー」の参加者は、免許更新講習の参加者よりより高い評価をしていた。「テキスト活用セミナー」の受講

者の回答を詳しく見ると、91.0%が、「セミナーで新しく学んだことを実際に教室で実践してみた」と回答し、「少しはあった」「かなりあった」を合わせて98.0%が「役にたったと実感できたものがあった」と回答している。また、「やや思う」「とても思う」を合わせて94.9%が「自分の授業のやり方がより良くなった」と思うと回答している。更に、授業進度について、73.2%が「少し変化があった」「大いに変化があった」と回答している。これらの質問項目は回答者自身の実感であって、授業進度や事業内容の向上を客観的な指標を用いて評価したものではないが、これらの回答から、教師自身の本セミナーで学んだことを積極的に授業実践で生かし、その結果、自身の授業実践の質的向上や実際の授業進度への効果を実感していることが明らかとなった。これらは、教師自身の事業実践に関する自己効力感の向上に明確につながるであろう。

一方で、職場ストレスに対する本セミナー受講の効果は、統計的検討より明らかとなった。本セミナー受講者は、受講していないものと比較して、セミナー受講後に明らかに職場ストレスを軽減させていた。これは「職業性ストレス簡易調査票（文部科学省）」全体の評価で統計的に有意であったが、下位尺度で見るとB領域でも統計的な有意差を示した。B領域は「活気がわいてくる」、「元気がいっぱいだ」、「怒りを感じる」、「ゆううつだ」などの職場で感じる気分についての項目と、「頭が重かったり頭痛がしたりする」、「よく眠れない」等の身体的症状についての項目になっている。

セミナーの研修効果の結果とこのストレスへの効果を合わせると、本講座の受講者に付いて、以下のように推察することができる。

『受講者は、本セミナーで授業に生かすことができる実践的内容を学び、実際に授業においてそれを実践することができた。更に授業実践内容の向上を実感し進度的にも順調に授業を進めることができるようになった。その結果、研修前に感じていた「怒りを感じる」、「ゆううつだ」といった仕事に関する否定的な気分や「頭が重かったり頭痛がしたりする」、「よく眠れない」当の身体的症状が改善された。つまり、職場ストレスが軽減した。』

以上

=====



#### IV その他

[キーワード]

初任者研修 テキスト 授業力学級経営教科指導特別支援教育

[人数規模]

D. 51名以上

[研修日数(回数)]

C. 4回

#### 【問い合わせ先】

玉川大学教職大学院 教授 谷和樹

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

TEL: 042-739-8111 (代表)